事務事業調書	No	484	課 名	維持管理課	起 案 者	加藤清
平成23年度			係 名	管理係	決 裁 者	竹内直人
事 業 種 別	施設管理		区 分	継続	業務一覧No	3
事務事業名	自転車駐車場運営事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 3 自転車 1 エコサイクルシティの形成 2 自転車の利用促進	予算科目(会計)	有料駐車場事業特別会計
		予算科目(款・項・目)	5-5-5
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	有	安城市有料駐車場の設置及び管理に関する条例	
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開 始	昭和63年度	経 過 23年目 / 終 了 / 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	鉄道利用の通勤通学等の利用者が	～になる	便利に安心して自転車駐車場を利用できるようになる。

事務事業の内容

環境にやさしいサイクルアンドライトとして、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐輪場の利用を推進するため、自転車駐車場の管理運営を行う。

事務事業進捗状況

	駐輪場箇所数	収容台数	1日平均利用台数
平成16年度	2箇所	1,764台	1,910台
平成17年度	2箇所	1,764台	2,036台
平成18年度	2箇所	1,764台	2,027台
平成19年度	2箇所	1,764台	2,137台
平成20年度	2箇所	1,764台	2,149台
平成21年度	2箇所	1,764台	2,077台
平成22年度	2箇所	2,374台	2,069台

改善・対策の履歴

平成4年3月　安城駅自転車駐車場を増築する。
平成5年2月　安城駅北口自転車駐車場を増築する。
平成20年度　安城駅北口自転車駐車場の屋根・外壁を改修する。
平成21年度　安城駅自転車駐車場の増築及び既設棟の屋根・外壁を改修する。
平成22年度　券売機2台を更新

環境配慮の視点

環境目標○－基本的施策○－具体的施策○

07 道路交通環境対策の推進
02 自動車使用頻度等の削減による環境負荷の軽減
07 駐車・駐輪場の整備とパークアンドライドの推進

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度 目標(予算)	平成20年度 実績	平成21年度 目標(予算)	平成21年度 実績	平成22年度 目標(予算)	平成22年度 実績	平成23年度 目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		40,505	38,084	121,280	112,633	21,660	20,224	20,789
	財 源 計 a		38,622	36,201	119,397	110,750	19,777	18,341	17,777
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	38,622	36,201	119,397	110,750	19,777	18,341	17,777
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		1,883	1,883	1,883	1,883	1,883	1,883	3,012
	内 訳	従 事 職 員 数	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.40
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	自転車駐車場業務管理委託	見込(単位)	1,764.00	2,374.00	2,374.00	2,374.00
				実績b(単位)	1,764.00	2,374.00	2,374.00	
		指標名(単位)	収容台数(台)	活動の総事業費f 実績	17,066	17,476	18,837	
				単位コストg=f÷b 実績	9.67	7.36	7.93	
	活動②	活動名（活動内容）	自転車駐車場施設設備改修	見込(単位)	1.00	1.00	2.00	2.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	2.00	
		指標名(単位)	施設設備改修(改修箇所)	活動の総事業費f 実績	21,018	95,157	1,387	
				単位コストg=f÷b 実績	21,018.00	95,156.50	693.25	
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	自転車駐車場の管理瑕疵による事故件数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	7.00	0.00	0.00	
			達成状況	未達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		自転車駐車場利用率(%) 1日平均駐車台数／収容台数(%)	見込(単位)	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績(単位)	122.00	118.00	117.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	安城駅自転車駐車場、安城駅北口駐車場の券売機を更新し、利用者の使いやすい自転車駐車場にした。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	・収容台数の不足に対処するため、効率的な管理方法を実施することにより、自転車駐車場の使用料収入は対前年比101%であった。 ・券売機を更新したことにより、施設改修費は増加した。
	成果1，2	自転車駐車場については、利用台数の増加に伴い狭くなった駐車スペースを、効率のよい管理方法及び場内整理を行うことにより確保した。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	指定管理者との連携を図り、駐車場の利便性の向上を図る。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	自転車駐車場利用の需要は大きく、引き続き利用者が安心して利用できるよう事業を継続する。